



【韓国】 総合指数は週間で1.9%安と3週ぶりに反落、ハイテク株に利益確定売り

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.9%安と3週ぶりに反落。週明け1月29日は前週末の米株高を好感し、一時は史上初めて2600ポイントに乗せ、3営業日連続で最高値を更新して週の取引をスタートしたものの、その後は軟調な動きが続いた。2日は約2週間ぶり安値。高値警戒感に加え、米長期金利の上昇を受けて新興国市場からの資金流出懸念がくすぶった。ほかのアジア市場の株安も投資家心理を悪化させた。サムスン電子などハイテク主力株が売られ、下げを主導した。サムスン電子の17年の営業利益が過去最高を更新したほか、株式分割も好感されたものの、当面の材料出尽くし感から利益確定売りが膨らんだ。今週はNY市場や米長期金利の動きをにらみ、神経質な展開か。5日に12月の国際収支と1月の外貨準備高が発表される予定。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は週間で1.1%安と6週ぶり反落、今週は引き続き軟調か

先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で1.1%安と6週ぶりに反落。前週に2014年7月以来の1300ドル台を回復した反動に加え、原油価格や欧米主要株式相場下落を受け、売り優勢の展開となった。米ロ関係の悪化懸念や小売大手マグニトの大幅下落が続く中、原油安でエネルギー株もほぼ全面安。週初から原油先物が下落基調となったことで、指数は31日の場中に1270ドルを割った。1日は前日に68ドル台まで下落したブレント原油先物が70ドル目前まで値を戻し、指数も一時、1297.51ドルまで上昇。2日は前日比プラスで寄り付いたが、米雇用統計の好結果を受けた米金利上昇とドル高で、70ドル台を回復していた原油先物が68ドル台へ急落。指数も連れ安し、前日比1.6%安の1272.76ドルで引けた。今週は軟調な展開が続くか。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は1.0%安と7週ぶり反落、今週は旧正月前の持ち高調

整か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.0%安と7週ぶりに反落。先進諸国の株式市場や原油相場が軟調に推移したことを受け、高値警戒感から売り優勢の展開となった。先週発表された経済指標はまちまち。日経ベトナム製造業 PMI は53.4と前回の52.5から上昇したが、1月小売売上高は9.5%増と前回の10.9%増から伸びが鈍化した。週明け29日にプラスで寄り付いたVN指数は一気に上昇し、2007年3月以来の1130ポイントを回復。ただ、その後は長期金利の上昇で米国株が下落するなど海外主要株式市場が軟調となった影響で、総じて弱い展開で推移した。2日は前引けに掛けて値を崩したが、後場に切り返し、前日比0.5%高の1105.04ポイントの高値引けで取引を終了した。今週は14日に始まる旧正月の休場を前に持ち高調整で弱含むか。

▼指数チャート



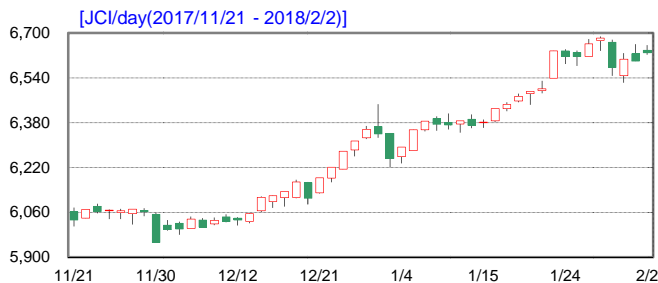


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.5%安、今週は 17 年 10-12 月期の GDP が焦点

ジャカルタ総合指数は週間で 0.5%安と 4 週ぶりに反落。1 月月間では 3.9%高。先週は前半に大きく下落する場面もあったが、週末の反発が下げ幅を縮めた。週初の 29 日は、前日に政府がバングラデシュに対し液化天然ガスを輸出する交渉の開始に合意したことを受けてエネルギー株が買われ、指数は 2 営業日連続で終値の過去最高値を更新。ただ、30 日に前日の NY ダウが反落した流れで前日比 1.6%安と 3 営業日ぶりに反落すると、その後は週末まで一進一退を繰り返した。今週は 5 日発表の 17 年 10-12 月期の GDP に対する市場の反応が焦点になるほか、6 日には 12 月の小売売上高が発表される予定。

▼指数チャート

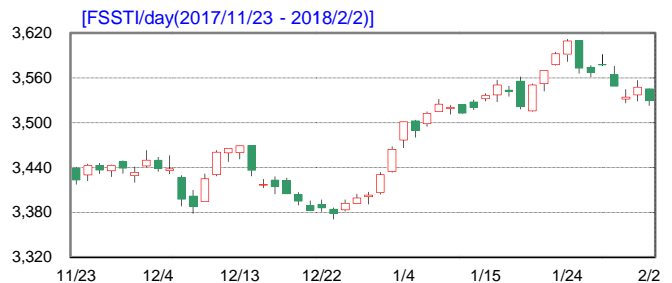


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.0%安、1 月の製造業 PMI が 8 年ぶりの最高値を更新

ストレーツタイムズ指数は週間で 1.0%安と 6 週ぶりに反落。1 月月間では 3.9%高。先週は買い材料に乏しく、さえない値動きが続いた。週初の 29 日は反発したものの、その後は NY ダウの下落に連動して 31 日まで続落。1 日はいったん買い戻されたが、2 日は不動産株と工業関連株が売られ、指数は終値ベースで 2 週間ぶりの安値を更新して引けた。今週は前週末の取引終了後に発表された 1 月の製造業 PMI が 53.1 と 09 年 12 月以来の最高値を更新した効果が期待されるほか、5 日発表の 1 月の日経 PMI に対する市場の反応も焦点。外部要因では 8 日に発表される中国の 1 月の貿易統計が株式相場を左右しそうだ。

▼指数チャート

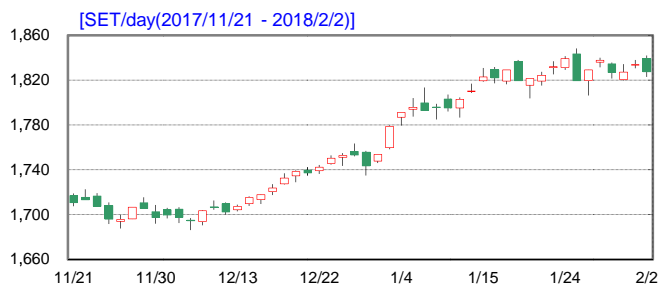


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.1%安、PTTEP がガス田の権益追加取得で上昇

SET 指数は週間で 0.1%安と 10 週ぶりに反落。1 月月間では 4.2%高。先週は週末の反落が指数を押し下げた。週初の 29 日は続伸してスタートしたものの 30 日は反落。一方、31 日はタイ石油公社 (PTT) 傘下の PTT エクスプロレーション・アンド・プロダクション (PTTEP) が、ボンコット鉱区でロイヤル・ダッチ・シェルが保有するガス田の権益を 7 億 5 千万米ドルで取得する計画が明らかになったことを受けて買われ、数を支えた。その後もエネルギー株は上昇基調が続いたが、2 日は消費関連株と不産株が売られ、反落して引けた。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因に左右される展開になりそう。

▼指数チャート

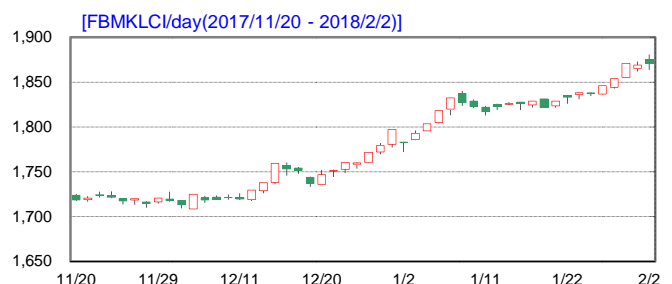


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.9%高、今週は 12 月の貿易統計と鉱工業生産に期待

クアラルンプール総合指数は 3 日間の取引で 0.9%高と 10 週続伸。1 月月間では 4.0%高。先週は近隣諸国の指数が伸び悩む中、週初の上昇が奏功し、堅調を維持した。29 日は前週の政策金利引き上げ決定の余波で金融株が買われ、指数は終値ベースで 14 年 9 月以来の高値を更新。30 日は利益確定売りで 4 営業日ぶりに反落したものの、連休明けの 2 日は小幅ながら反発して取引を終えた。今週は 7 日に 17 年 12 月の貿易統計、9 日に鉱工業生産が発表される予定。前週末の NY ダウが長期金利の上昇を受けて大幅下落したことが逆風となる中、国内の経済指標が市場予想から上振れすれば株式相場の支援材料になる。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。